学校だより 滄浪（そうろう）

残暑お見舞い申しあげます

猛暑が続いております。子どもも大人も十分な暑さ対策をし、熱中症にならぬよう心がけましょう

子どもたちの夏休みもあと十日あまりです。交通事故や河川での事故に油断することなく、残された日々を過ごしてください

二学期の始業式に全校児童が元気な顔でそろい、スタートできることを楽しみにしています。

また、夏休みの自慢話（がんばったことや取り組んだことも楽しみにしています。

生活のリズムが乱れてきていませんか。早寝早起き朝ごはんは大丈夫でしょうか。リズムが乱れている人は、残りの日々でいつもの生活リズムにもどしましょう。

さあ、いよいよ二学期が間近です。一人一人が主役として、勉強や運動に力を発揮する学期です。

保護者や地域の皆様には、残された夏休み、子どもたちの見守りをお願いいたします。

職員一同

平和学習会

七月三十日は夏休みに入り最初の出校日でした。同日、学校では終戦間際の空襲で犠牲となった七名の本校児童の慰霊を兼ねた平和につい学習会も校庭の慰霊碑の前で開催されました。

最初、六十五年前の空襲を描いた紙芝居が職員によって上演されました。初めて参加した一年生も真剣に見つめていました。最後に犠牲となった七名の名前が読み上げられました。

つぎに、犠牲となった方の親族で現在は栃木県の足利市にお住まいの＊＊＊さんからの「滄浪小学校の皆様へ」というメッセージが紹介されました。＊＊さんは昨年度、本校を訪れ、慰霊碑に献花をされた方で折りは子どもたちにおたくさん持参されました。メッセージには、本校が毎年命日に慰霊をすることへの感謝が述べられていました。

（裏に紹介）

それから、校区在住で当日の空襲を体験された＊＊＊さんにお話を頂きました。＊＊＊さんは当時一年生で、空襲で逃げ回ったことや家年や学校が焼けるのを山の上から見て いたことを聞いたことを「夢中で学校に駆けつけたこと」などを「今も決して忘れません」とお話されました。また、「いじめや けんかも大きくなれば戦争になるのと同じ」と児童に呼びかけました。

今年の平和学習には、校区の方々や入来在住で当時川内の学校にいて空襲を経験された方も参加して頂きました。また、南日本新聞の記者の方も取材に来られました。

私たちは今の平和が戦争による貴い犠牲によりもたらされていることや二度と悲惨な戦争のない世の中にしていくことが努めであることを改めて思うことでした。

滄浪地区夏祭り

校区活性化委員会主催による夏祭りが十四日開催されました。当日は子どもたちが描いた灯ろうも会場に飾られ、祭り気分を盛り上げました。子どもたちは、子ども会によるキッズタイムでは、カン積み競争やボウリング、タイムチャレンジのゲームに取組、楽しい時間を過ごしました。

余興では、五つ太鼓で、五年生の＊＊＊さんも奏者の一人として素晴らしいバチさばきを見せて熱演しました。

帰省の人達も多く参加して大変盛り上がった夏祭りでした。

久見崎盆踊り「想夫恋」

県指定無形民俗文化財で本地区の郷土芸能である久見崎盆踊り「想夫恋」が、想夫恋保存会により日和山公園で開催され、多くの見学者が訪れました。本校の子どもたちもコミュニケーション科での郷土学習として本年度から学ぶことになり、高学年の子どもたちが参観しました。

久見崎産業様より花の寄贈

一学期にはサルビアやマリーゴールド等の花の苗を頂きました。また、夏休みに入ってからひまわりの花を寄贈して頂きました。「人権の花」であるひまわりの花の栽培に取り組みました。長雨等でうまく育ちませんでした。それだけに一層ありがたいでした。重ね重ねの花の寄贈に御礼申しあげます。